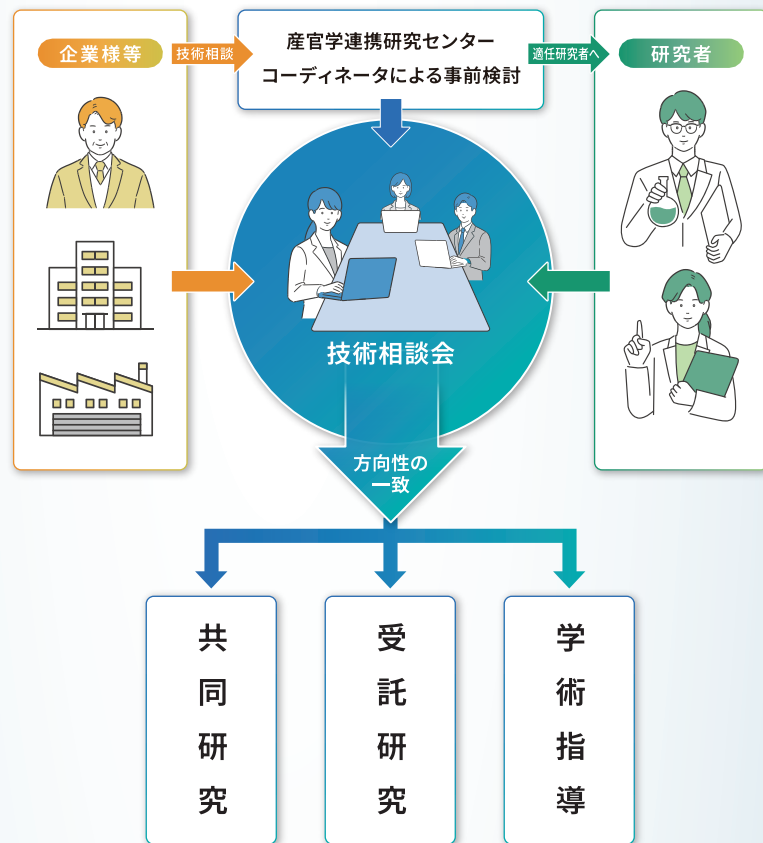


■ 産官学連携の流れ



産官学連携コーディネータ（産学連携教授）のご紹介

本学の産官学連携コーディネータは、企業・自治体のみなさまと研究者をつなぐ“相談窓口”です。技術課題の整理から、適切な研究者・連携メニューのご提案、実施までの調整・伴走支援を一貫して行います。

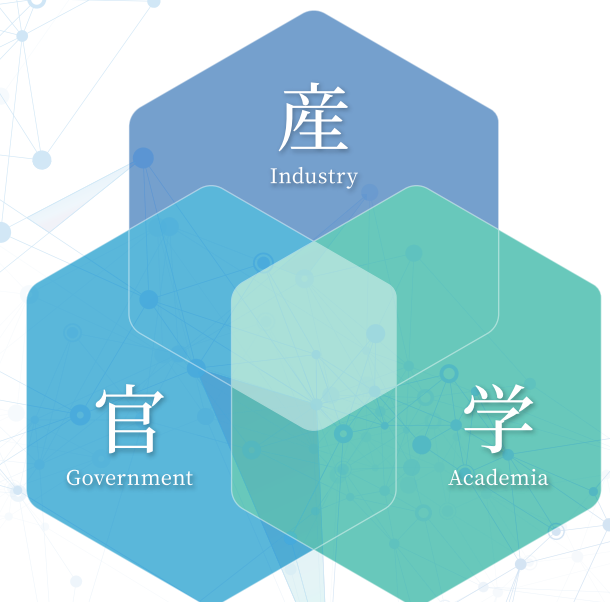
	氏 名	専門分野
産官学連携 担当	森田 政宏	情報分野・環境分野・外部研究資金
	坪井 成吉	機電系
	藤波 政孝	電気・電子・情報
	小泉 順二	材料・バイオ・環境
知的財産・ 契約担当	牧野 琢磨	知的財産
	阿部 正廣	知的財産（技術契約）・海外産学連携・利益相反
安全保障 輸出管理担当	小林 峯雄	安全保障輸出管理



中部大学

産官学連携支援 ご案内

みなさまの課題を、大学の「知」で解決へ



新事業の立ち上げ、新製品・新技術開発、
生産技術や品質の高度化、人材育成…。

本学では、企業や自治体等のみなさまの多様なニーズに対し、
研究者との連携を通じて課題解決をサポートする

産官学連携の窓口を設けています。

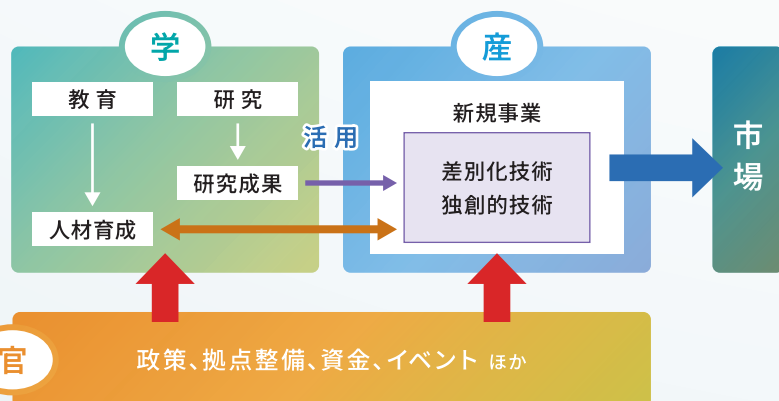
「ちょっと相談してみたい」という段階から、
どうぞお気軽にご連絡ください。

産官学連携とは？

～期待される効果～



産官学連携とは、企業（産）・行政機関（官）と大学（学）が連携し、それぞれの強みを持ち寄って課題解決に取り組む活動です。



■ 産官学連携により期待される主な効果

- 研究開発のスピードアップ・高度化
- 自社だけでは得られない最新の知見・技術へのアクセス
- 新製品・新サービス開発による競争力の向上
- 助成金・公的支援制度の活用
- 連携を通じた人材育成・採用機会の拡大
- 地域社会・行政とのネットワーク構築と信頼性の向上

中部大学の産官学連携の特徴



文 経営情報学部
国際関係学部
人文学部

理 工学部
理工学部
応用生物学部

医 生命健康科学部

教 現代教育学部

多様な分野が集う総合大学としての強み

中部大学は、8学部27学科4専攻がワンキャンパスに集約された総合大学です。工学、情報、環境、医療・福祉、経済・経営、教育・心理など、幅広い専門分野の研究者が有機的に連携し、学際的なチームで課題に向き合います。総合的な解決策をご提案できることが強みです。多様なニーズに対して、研究者の知を活かして支援します。

産官学連携の主な支援メニュー

課題や目的に応じた、さまざまな連携メニューを用意しています。

▶ 相談・マッチング

【技術相談】

新事業・新製品開発や生産技術・品質向上など、技術課題全般のご相談窓口です。技術相談申込書をお送りください。課題内容に応じて、適切な教員や共同研究・受託研究等の連携メニューをご提案します。

技術相談申込書



研究紹介(PDF版)



▶ 研究・人材

【共同研究】

民間企業・国・地方自治体・大学などと特定の研究課題について研究者及び研究経費等を受け入れて行う研究です。

【受託研究】

民間企業をはじめ、国や地方自治体などから委託された課題について研究を行います。

【学術指導】

民間企業をはじめ、国や地方自治体などから依頼を受け、本学の研究者が有する専門知識に基づき、依頼者の業務や活動について指導助言を行います。

詳しくはこちら



▶ セミナー・交流・その他

【奨学寄附金】

研究者個人に対し、教育研究支援を目的とした寄附金を企業や個人からご提供いただく制度です。

【出前セミナー】

ご要望のテーマに応じて、専門分野の教員が講演・セミナーを行います。

【技術交流会】

大学と企業が研究内容や技術動向を紹介し合い、情報交換・ネットワークづくりを行う場です。

【ラボツアー】

関心のあるテーマに関連する研究室を見学し、設備や研究内容をご紹介します。

ご相談の流れ・費用の考え方

1 ご相談から連携実施までの流れ

Step 1

お問い合わせ

技術相談申込書をE-mailまたはFAXで中部大学研究支援部までお送りください。

Step 2

コーディネータによるヒアリング

課題やご要望、スケジュール・ご予算のイメージなどをお伺いします。

Step 3

研究者の選定・連携メニューのご提案

内容に応じて適切な研究者を選定し、共同研究・受託研究・学術指導など最適な連携方法をご提案します。

Step 4

計画の具体化・契約手続き

研究計画・役割分担・費用等について合意したうえで、契約手続きを行います。

Step 5

費用のお振込み・連携の実施

費用をお振込みいただきましたら、連携を実施いたします。

2 費用算出の基本的な考え方

費用は、主に次の要素をもとに算出します。

■ 算出要素例

- 研究・指導の期間
- 関わる教員・スタッフの専門性・工数
- 実験・設備利用・材料等にかかる直接経費
- 事務管理費等の間接経費 など

まずはお気軽にご相談ください。

案件ごとに内容や難易度が異なるため、個別にお見積りいたします。
目安となる金額や助成制度の活用についても、コーディネータまでご相談ください。
※技術相談の初回面談は無料です。



問い合わせ先



中部大学 研究支援部

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地

TEL 0568-51-4852
FAX 0568-51-4859

〈E-mail〉
chubu-cd@fsc.chubu.ac.jp